

宮崎神宮：白い藤

樹齢 400 年以上と推定されるこの巨大なオオシラフジ（*Wisteria floribunda* f. *alba*）は、宮崎神宮庭園の見どころのひとつです。神社の境内が大幅に拡張され、その構造が再建された 1907 年に、藤は現在の場所に移され、当時は森林に覆われていたこのエリアは、庭園に変わりました。藤はある地元商人から神社への供物として贈られたもので、それ以来丁寧に世話をされてきました。この藤は幹から南西に 12 メートル以上、北東に約 6 メートル伸びており、日本最大級です。天然記念物に指定されており、通常 4 月中旬に、枝に沿って長い家房に香りのよい白い花が咲きます。